



乙訓福祉施設事務組合

広報

おつふくつうしん

2022
6
No.47

乙訓福祉施設事務組合とは向日市、長岡京市、大山崎町の2市1町が福祉事業の一部を共同して行うことを目的として設立されている一部事務組合(特別地方公共団体)です。

乙訓若竹苑



「かんでんコラボ・アート」
若竹苑 生活介護
審査員特別賞受賞

職員募集のお知らせ

運転手、支援員職を
随時募集しています。
詳しくは乙訓若竹苑まで
お問い合わせください。

075-954-6501

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、
掲載している内容は変更になる場合があります。

生活介護事業

生活介護事業では創作活動にも力を入れており、毎年様々な芸術展に作品を出展しています。昨年度は皆で力を合わせて作った作品「あしあと」(表紙掲載作品)が「2021かんでんコラボ・アート」公募展にて審査員特別賞を受賞することが出来ました。こちらの作品展に応募をはじめて4年。日々の取り組みから出来た物が賞賛されたこと、とても光栄に思います。



作品はかんでんコラボ・アートのホームページ内のウェブ公開展示会でご覧いただけます。ウェブ公開展示会へはこちらのQRコードからもアクセス可能です。

また、生活介護事業では、創作活動以外にも様々な取り組みをしています。自主製品作りでは「自分達に出来ることを」から“ぬいぬい”シリーズが生まれ、今では定番から新作と様々な商品を展開中です。目にする機会がありましたら是非お手に取ってみてください。

空き缶を回収しています！

生活介護事業では、地域の皆様からのアルミ缶の回収をおこなっています。回収したアルミ缶は利用者がプレスしてリサイクル工場に持っていき、時価で引き取ってもらっています。施設へのご持参だけでなく、こちらから回収に伺うことも可能です。ご協力いただける方は、乙訓若竹苑(075-954-6501 生活介護事業)までご連絡ください。

なお、令和3年度は総重量289.3kgのアルミ缶を回収させていただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。

就労継続支援（B型）事業

就労継続支援（B型）事業では、昨年度より新しい内職作業が増えました。京都の伝統文化を体験できるイベントを企画運営する企業の「伝統産業体験プラン」にて使うブックカバーを製作することになり、ミシンの得意な利用者を中心に生地のカット・縫製作業をおこなっています。

納品したブックカバーは、お客さんが職人さんと一緒に金箔を貼る体験に使われるそうで、とても人気のプランと伺っています。このような京都ならではの企画に携わることができ、大変嬉しく思います。



頑張ってます



完成サンプル

障がい者ふれあいサロン

障がい者ふれあいサロンでは、毎週土曜日に様々なプログラムをおこなっています。ここではその活動の一部を紹介したいと思います。



竹の筒を利用して作るでんでん太鼓。ポコポコとかわいい音が響きました。



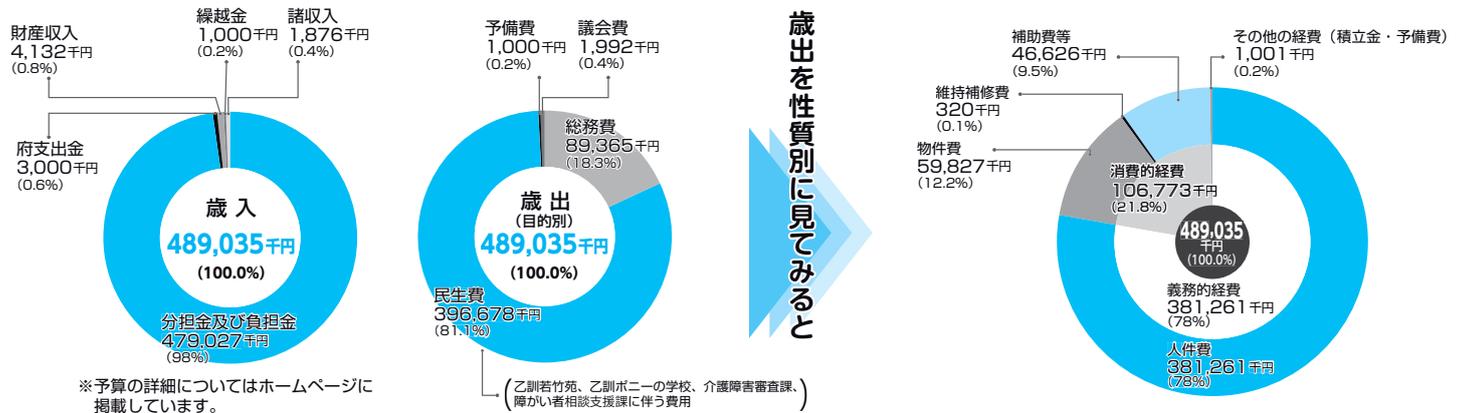
寒かったので生地の発酵に時間がかかりましたが、ふんわり優しい味のチョコパンができて、最後はみんなで食べました。

他にも、カラオケや映画鑑賞会なども実施しています。ホームページに予定表や活動写真を掲載していますので、ご覧下さい。

令和4年度

当初予算の概要

乙訓福祉施設事務組合では予算を、市町村等の自治体と同様に議会（組合議会）で審議、決定しています。令和4年度の当初予算は、3月25日に行われた組合議会で決まりました。総額は4億8千903万5千円で、昨年と比べて2千324万7千円（5.0%）の増額となっています。



令和3年度下半期

財政状況の公表

乙訓福祉施設事務組合は、財政状況の公表に関する条例に基づき、毎年6月と12月に組合財政の状況について公表しています。今回は、令和3年度の下半期分として、令和4年3月31日現在における予算の執行状況や組合財産の現在高等についてお知らせします。

◆一般会計歳入歳出予算執行状況 (令和4年3月31日現在)

歳入 (単位: 千円)					歳出 (単位: 千円)				
款	予算現額	構成比	収入済額	収入率	款	予算現額	構成比	支出済額	執行率
1 分担金及び負担金	444,568	94.2%	416,252	93.6%	1 議会費	1,347	0.3%	1,180	87.6%
2 府支出金	3,000	0.6%	3,793	126.4%	2 総務費	80,649	17.1%	55,343	68.6%
3 財産収入	6,683	1.4%	3,860	57.8%	3 民生費	386,436	81.8%	358,353	92.7%
4 繰越金	16,161	3.4%	16,161	100.0%	4 予備費	3,837	0.8%	0	0.0%
5 諸収入	1,857	0.4%	1,744	93.9%	歳出合計	472,269	100.0%	414,876	87.8%
歳入合計	472,269	100.0%	441,810	93.6%					

◆組合財産の現在高 (令和4年3月31日現在)

区分	数量・面積	内容
土地	2,986.46㎡	若竹苑、ポニーの学校用地(旧ポニー用地含む)
建物	2,045.58㎡	若竹苑、ポニーの学校(組合庁舎含む)
物品	57品	1品10万円以上の物品

◆基金の状況 (単位: 千円)

名称	令和4年3月31日現在残高
財政調整基金	2,007
施設整備基金	0

◆一時借入金状況

令和4年3月までの一時借入金の借入実績は、ありませんでした。

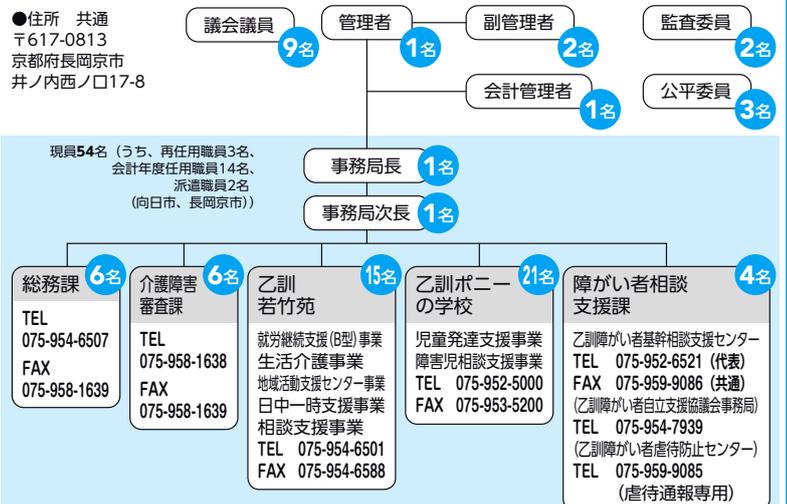
組合議会議員紹介

令和4年6月1日現在の組合議会議員は、次の方々です。

- 議長 **波多野 庇砂** (大山崎町)
- 副議長 **白石 多津子** (長岡京市)
- 監査委員 **村田 光隆** (向日市)
- 議員 **大伴 壘** (長岡京市)
- 〃 **嘉久志 満** (大山崎町)
- 〃 **北林 智子** (向日市)
- 〃 **住田 初恵** (長岡京市)
- 〃 **辻 真理子** (大山崎町)
- 〃 **松本 美由紀** (向日市)

- 議会は傍聴可能です。(予約不要)
- 議会日程についてはホームページに掲載しています。

組合機構図と職員構成



(令和4年4月1日現在)

乙訓障がい者基幹相談支援センター

TEL.075-952-6521 (代表) FAX.075-959-9086

乙訓障がい者基幹相談支援センターは、身体障がい・知的障がい・精神障がい・難病・発達障がい・高次脳機能障がいなどの全ての障がいのある方に対応する総合的な相談窓口です。相談内容に応じて、関係機関と連携し、お困りごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

総合相談 TEL.075-952-6521

①総合的・専門的な相談支援の実施

暮らしのこと、福祉サービス、権利に関することなど、ご本人やご家族が抱えている不安や課題をお聞きし、生活をサポートする関係機関と連携して解決方法を考えます。

相談支援事業所が抱える解決しづらい困難ケースに対して、課題や支援方法の着目点などについて一緒に考えます。



②地域の相談支援体制強化の取り組み

乙訓圏域障がい者自立支援協議会や乙訓圏域障がい者相談支援事業所連絡会といった地域のネットワークづくりに関する会議に出席し、関係機関との連携に取り組んでいます。

また、相談支援事業所のニーズに応じた研修会を毎年開催しています。

③権利擁護に関する取り組み

「成年後見制度」について案内や説明を行います。

乙訓圏域障がい者自立支援協議会事務局 TEL.075-954-7939

乙訓圏域障がい者自立支援協議会は、地域の障がい者福祉における課題整理や検討、発信を目的に運営されています。

—令和3年度 事業報告—

○運営委員会

委託相談支援事業所と行政機関で構成し、協議すべき課題の整理と支援策の検討、部会の進め方などについて協議しました。

○「医療的ケア」委員会

医療型短期入所の開設に向けて、先行実施している病院との懇談を行いました。また、乙訓地域の介護老人保健施設に対して、医療型短期入所の制度を説明し、実施への協力を求めました。

医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者のフォローアップの交流会を実施し、医療的ケア児支援法と京都府の今後の取り組みについて、京都府障害者支援課から講演していただきました。



○就労支援部会

障がい者雇用促進のための公的機関での実習や福祉事業所の工賃アップを目指すための仕組みを協議しました。また、乙訓障がい者就労支援ネットワーク「たけのこ」

と共催し、10月に「ミニ企業交流会」を開催しました。

○人材確保・育成部会

福祉系大学の学生の就職活動や傾向、大学の取り組み等を学ぶ勉強会を開催し、乙訓の障がい者施設への人材確保の方策について協議しました。

乙訓の障がい者施設を紹介するためのチラシを作成し、各商工会や近隣の専門学校・大学等へ設置、配布しました。

○相談支援プロジェクト

相談支援専門員の業務内容が複雑化していることから、スキルアップを目指す取り組みについて乙訓障がい者基幹相談支援センターと共催で研修を実施しました。

身体障がい者の入浴サービスを広げるため、乙訓の介護保険事業所へアンケートを実施し、協力できる旨の回答をいただいた11施設について行政へ情報提供しました。

○精神障がい者地域生活支援プロジェクト

乙訓地域の資源として、「社会的居場所」を取り上げることとし、アンケートを実施しました。居場所の定義についても確認しました。

また、ひきこもりをテーマとした支援者交流会に共催団体として参加しました。

○児童発達支援プロジェクト

乙訓圏域児童通所支援事業所連絡会と連携し、児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所の「事業所情報の一覧表」を取りまとめました。

○喫煙吸引等研修プロジェクト

乙訓福祉会との連携により「介護職員等による喫煙吸引等研修（第3号研修）」を実施しました。

*詳しい内容は「乙訓福祉施設事務組合」ホームページから「乙訓圏域障がい者自立支援協議会」を開いていただくと、平成28年度以降の協議会活動状況、会議録等を掲載しております。情報を逐次更新しておりますので是非ご覧ください。
(<http://www.otsufuku.com>)

「障がい」のひらがな表記について

「障害」の「害」という漢字は否定的なイメージを思い浮かべたり、不快感をもたれたり、人に対して使用することが心身に障がいを持つ方々への差別や偏見を助長しかねません。このことから、本組合で作成・発送する文書や広報などは、人や人の状態を表す「障害」の文字を「障がい」と表記します。但し、法律や制度の名称及び「障害物」など人や人の状態を表さない言葉では、従来どおりの表記となります。

乙訓障がい者虐待防止センター TEL.075-952-6521

「障害者虐待防止法」に基づき、通報の受付や相談・助言、各案件の対応のお手伝いをしたり、虐待防止の広報に取り組んでいます。

しょう しゃぎやくたい ぼうし きょうりよく
障がい者虐待の防止にご協力ください

ぎやくたい う 受けた おも しょう かわた み ととき
 虐待を受けたと思われる障がいのある方を見た時
 は、下記の番号までご連絡ください。
 ぎやくたい う 虐待を受けている可能性のある人だけでなく、介護
 かいじょ や介助をしている人を守るためでもあります。
 とくめい れんらく
 匿名での連絡もできます。

つうほうせんようばんごう
通報専用番号
 ☎075-959-9085

【乙訓の障がい者虐待の件数】(R3.4.1～R4.3.31)

	通報・届出 受理件数	虐待ありと 判断した件数	調査中の 件数	虐待なしと 判断した件数
養護者による	20	10	7	8
施設従事者による	5	2	3	0
使用者による	1	0	0	1

※虐待有無の件数には、前年度より繰り越している案件も含まれるため、総数との相違があります。
 通報ごとに、関係市町と内容を検討し、緊急性の判断や対応方針の会議、事実確認を行い、必要に応じてケース会議を行いました。

研修会を開催しました

令和4年1月13日に圏域内の障がい福祉サービス事業所職員に向けて「虐待防止委員会について」と題し、社会福祉法人北摂杉の子会 平野貴久氏にご講演いただきました。会場研修とオンラインの同時開催で行い、62名の参加がありました。
 令和4年度より障害福祉サービス事業所等において設置が義務付けられる虐待防止委員会を検討すべき内容や取り組む姿勢について等を学びました。



介護障害審査課

介護障害審査課は、向日市・長岡京市・大山崎町（以下、2市1町）における介護保険の要介護認定と、障害支援区分認定の審査会事務局を務めています。

認定審査会

介護認定審査会は、76名の審査会委員を19のグループに分け、また障害支援区分認定審査会は、15名の審査会委員を3つのグループに分けた合議体で開催しています。

いずれの審査会においても、申請を受け付けたそれぞれの市町が、国が定める一次判定ソフトに基づきコンピューターにより一次判定を行います。しかし、それだけでは申請者固有の状態を評価することはできないため、両審査会は、一次判定結果を原案とし、認定調査票と主治医意見書の内容をくみ取り、保健、医療、福祉等の専門性の観点から総合的に判断し、二次判定を実施しています。

要介護認定審査結果及び障害支援区分認定審査結果

令和3年度における介護認定審査件数は5,420件、また、障害支援区分認定審査件数は394件でした。

なお、2市1町それぞれの介護認定審査及び障害支援区分認定審査の結果並びに過去10年間の審査件数の推移は、下表のとおりです。

表1 令和3年度介護認定審査会審査判定結果一覧

市町名	審査件数	※「一次→二次」変更				要支援							要介護				
		変更件数	重度変更	軽度変更	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5					
向日市	1,985	278	261	17	3	361	204	402	292	246	284	193					
長岡京市	2,851	346	323	23	14	363	391	568	487	355	350	323					
大山崎町	584	121	117	4	2	83	63	120	90	75	84	67					
合計	5,420	745	701	44	19	807	658	1,090	869	676	718	583					

表2 令和3年度障害支援区分認定審査会審査判定結果一覧

市町名	審査件数	※「一次→二次」変更				障害支援区分					
		変更件数	重度変更	軽度変更	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
向日市	147	19	19	0	0	0	6	21	13	41	66
長岡京市	200	20	20	0	0	0	10	32	34	33	91
大山崎町	47	8	8	0	0	0	3	6	7	8	23
合計	394	47	47	0	0	0	19	59	54	82	180

※表1及び表2の「変更件数」とは、判定ソフトによる一次判定結果が、審査会による二次判定で変更された件数です。

表3 過去10年間(平成24年度～令和3年度)での審査件数の推移

市町名	審査件数									
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
向日市	1,985	1,697	2,442	1,966	2,314	2,245	2,238	2,066	2,113	2,003
長岡京市	2,851	2,338	3,799	2,954	3,706	3,318	3,253	3,169	3,102	2,966
大山崎町	584	427	722	589	724	715	730	711	704	695
計	5,420	4,462	6,963	5,509	6,744	6,278	6,221	5,946	5,919	5,664

障害支援区分認定審査会

市町名	審査件数									
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
向日市	147	94	81	141	73	81	146	66	80	134
長岡京市	200	128	148	224	104	145	213	112	130	216
大山崎町	47	32	26	43	30	27	44	34	19	47
計	394	254	255	408	207	253	403	212	229	397

乙訓ポニーの学校

乙訓ポニーの学校は、発達の遅れやつまずきが心配される就学前のお子さんを対象とした児童発達支援事業を行う親子通園の療育施設です。次回の申込みは8月です。

また、乙訓地域で生活しておられる18歳未満の方とご家族を対象とした相談支援事業も行っており、様々なお悩みや困り事について相談をお受けしています。

TEL 075-952-5000

FAX 075-953-5200

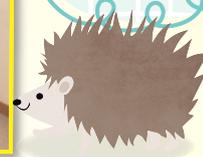


ポニーの学校では、
こんなことをしています！

ポニーの学校では、遊びを通してお子さんの発達を促します。お子さん1人ひとりの“楽しい”“やってみたい！”気持ちを大事にしながら、自信や意欲が高まるような経験を積み重ね、お子さん自身が次の一步を踏み出せるようなお手伝いをしています。



色々な
お部屋が
あります！



個別対応クラス

一対一の関わりの中で、身体を使った運動遊びに取り組みたり、手先を使う遊びを楽しんだり、ままごとで簡単なやりとりをしたり、心と身体を十分に満たしながら、対人関係の土台となる力を育みます。個別療育の後にはプレイルームに集まり、他の支援員やお友だちと遊びます。

登ったり
渡ったり...
身体を使って
遊びます。



手先を使う
玩具も
たくさん
ありますよ！



グループ療育クラス

年少児から年長児を対象とした1クラス7名までの小集団のクラスです。安心できる友だちと一緒に、他者の意図やルールを意識しながら、様々な遊びを楽しみます。支援員や友だちがモデルになったり、一緒に伝えたり、仲介しながら、やりとりにつながるよう関わっています。



様々な遊具で身体をいっぱい動かして遊びます。他にも、ままごとやお買い物ごっこ、おにごっこやだるまさんがころんだ等、どんな遊びをするのかはお楽しみです！

